

熊本県立荒尾支援学校進路便り (NO. 44)

# わーく&らいふ

令和2年2月26日 進路指導部 発行

## ■CONTENTS■

★特集 同窓会「たけの子会」

特別支援学校の特色のひとつに、「卒業生への支援」があります。これは、一般の高校等より手厚く丁寧な取組で、進路指導部を中心として進路先の定期訪問、本人・家族との相談を行う他、重要な活動として「同窓会」の企画運営を行っています。

今回の「わーく&らいふ」では、本校の同窓会「たけの子会」の意義（私たちが会に込める思い）や年間の活動についてご紹介いたします。

## 1 特別支援学校にとっての「同窓会」の意義

「同窓会」活動は、卒業生・学校双方にとって、次のような意義があります。

### ○卒業生にとっての「同窓会」の意義は、

- 定期的に仲間や先生と会える楽しみな場
- 運動会やまつりなどで楽しめる場
- 外出機会の確保
- 生活の中のおアシス、気持ちのリフレッシュになる
- 悩み事や困り事を相談する場
- 母校とつながっている感覚を持つことができる場
- などがあげられます。

### ○学校にとっての「同窓会」の意義は、

- 卒業生の動向を把握できる場
- 問題などを早期発見し、卒業生のアフターケアにつなげる場
- 卒業生も楽しみにやってくる学校（行事）づくりなどがあげられます。



## 2 同窓会「たけの子会」の年間スケジュール

「たけの子会」の活動としては、学校行事（ARA・SHI 運動会、ARA・SHI まつり）への参加と同窓会行事（役員会、総会、ポウリング大会、成人のつどい）への参加があります。学校行事は卒業後5年間、同窓会行事は卒業後3年間程度（総会を除く）ハガキで案内します。

時期	行事
5月	学校行事（ARA・SHI運動会）
5月末	役員会
8月	総会
10月	学校行事 （ARA・SHIまつり・販売）
11月	ポウリング大会
1月	成人のつどい

役員は役員会の他に入学式や卒業式などへ出席していただき、祝辞を頂くのが恒例です。また、ARA・SHIまつりのバザーでは、同窓会の有志で毎年飲み物販売を行っており、売り上げは「たけの子会」の活動費になっています。

## 3 同窓会事務局としての学校（進路指導部）

同窓会の事務局は学校が担い、進路指導部を中心に企画運営しています。行事の際は、本校全職員が協力して会場設営や装飾などを行い、心を込めて卒業生をお迎えする準備をしています。

## 4 年間行事の詳細

### ◆「総会」

総会は、本校創立以来の卒業生すべてに案内する行事です。毎年7月から8月にかけて開催されており、今年度は8月3日（土）に荒尾支援学校2号棟プレイルームで開催されました。

最年長は40歳の方から、最年少は新卒の19歳までの卒業生やその家族、なつかしい先生方など50名程度が参加し、昨年度の活動報告や今年度の計画案の確認をしました。

会員の近況報告やレクリエーション（サイロトークや歌やダンス）もあり、賑やかに楽しく過ごすことができました。





### ◆「ボウリング大会」

ボウリング大会は、11月下旬の土曜日に開催し、おおむね卒業後3年の卒業生へ案内します。

今年も11月30日（土）にパスカワールドグリーンランド店にて開催されました。卒業生が、32名（H15卒～H30卒）、家族や先生方など合わせて50名程集まり、個人戦で2ゲーム行われました。ボウリングが得意な会員も久しぶりの会員も、各レーンでお互いに交流を深めながら楽しんでおられ、帰り際には、来年の再会を約束し合う様子も見られました。



### ◆「成人のつどい」

成人のつどいは、1月成人の前後の日曜日に毎年開催し、新成人とその前後の卒業生へ案内します。市町が主催する成人式には参加しない人も多いため、この「成人のつどい」は本校卒業生にとって大切な成人式となります。

今年も1月12日（日）に開催され、着物やスーツなど晴れやかな姿が輝いていました。卒業生・家族、旧職員・本校職員総勢84名が集い、新成人

をお祝いしました。

式は二部構成で執り行われ、第一部は式典形式で、会長あいさつ、堀川校長先生からのお祝いの言葉、新成人・家族のあいさつ、中山元校長先生からの祝辞などが行われました。その後、新成人から20歳を迎えるにあたっての決意や、今頑張っていることなどをお聞きすることができました。

第二部は茶話会形式で、宮田前校長先生の祝辞や旧担任からのメッセージをいただきました。在学時の思い出や現在の生活について談笑し、新成人の新しい門出を心を込めてお祝いすることができました。



### 編集後記

今年度、同窓会の事務局を担当しました。行事のたびに卒業生、家族、先生方が再会を喜び合ったり、笑顔いっぱいに語らう姿を目にしたことは、私にとって貴重な経験となりました。ARA・SHIを愛するすべての方の熱い思いを受け取った1年でした。今後も、思い出深い心のふるさとであり、新しい出会いの場である「たけの子会」になるように、力を尽くしていきたいです。ありがとうございました。（金子）